



仙北市障がい者の生涯学習講座「春のフットサル&eスポーツ体験教室」

5月23日(土)秋田県立大曲支援学校せんぼく校を会場に、今年度1回目となる「仙北市障がい者の生涯学習講座」が開催されました。この講座は、障がいのあるなしにかかわらず、誰もが気軽に集まって共に学び、交流を深めながら「お互いへの理解」を育むことを目指しています。当日は、地域の皆さんをはじめ、同校の在校生や卒業生、保護者の方々など、総勢80名が集まる大賑わいの1日となりました。



心地よい汗を流し、みんなで応援！

今回みんなで挑戦したのは「フットサル」と「eスポーツ」です。フットサルでは、秋田県サッカー協会の講師の先生からボールの扱い方を優しく教わり、ミニゲームに挑戦。eスポーツでは、市民会館の職員が操作をサポートしながら、画面の中の試合に熱中しました。どちらの会場でも、見事なシュートや好プレーが決まるたびに「ナイス!」「やったー!」と、割れんばかりの歓声と温かい拍手が送られ、参加した皆さんははじけるような笑顔を見せていました。



広がる学びの輪、次は「芸術体験」「和太鼓体験」へ！

仙北市では昨年度まで、県のサポートを受けながらこの取組を進めてきましたが、今年度からは市教育委員会生涯学習課が主体となり、中央公民館が協力し、地域の関係機関と手を合わせて「仙北市の独自の事業」として新たな一歩を踏み出しました。今回は、スポーツで心の距離をグッと縮めた皆さん。次のステップとして「夏の芸術体験教室」と「秋の和太鼓体験教室」が予定されています。これからも仙北市では「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも」学ぶことができる環境づくりに努め、生涯学習講座を進めていく予定となっています。

博物館探訪①

6月4日(木)、県公文書館と東成瀬村教育委員会との連携展「昭和100年記念展記録資料でたどる秋田の1世紀」が開催されている、まるごと自然館(旧椿川小学校)を訪ねました。

この日は、県が作成・取得した永年公文書、官報、県政ニュースなどの資料を通して昭和時代を振り返るギャラリートークが県公文書館職員によって、午前と午後1回ずつ行われました。午前、東成瀬中学校1年生を対象に行われました。午後の部に参加した同村生涯学習教室歴史探訪教室受講生の方に伺うと、

「残された資料を目にして、手にして、郷土の史実を学んだだけでなく、今後どう活かすかを考えるきっかけとなった」「博物館・郷土資料館の魅力を再発見できた」といったお話を聞くことができました。参加者の皆さんにとって、先人の想いに触れながら、自分の住んでいる地域を知る貴重な機会となったようです。「まるごと自然館」が、社会教育施設として地域を元気にする役割を果たしている様子を目にできました。



※連携展開催期間 7月5日(日)まで 午前9時から午後4時30分

休館日 毎週月曜日 入館料無料 TEL 0182-47-2362